

各 位

会社名 センコン物流株式会社
 代表者名 代表取締役社長 久保田 晴夫
 (JASDAQ・コード9051)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 管理本部長 柴崎 敏明
 電話022-382-6127

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,200	190	220	90	19 00
今回修正予想 (B)	7,046	206	129	59	12 46
増減額 (B-A)	△ 154	16	△ 91	△ 31	
増減率 (%)	△ 2.1	8.4	△ 41.4	△ 34.4	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	7,081	169	152	51	10 91

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,500	340	320	170	35 89
今回修正予想 (B)	14,300	340	250	130	27 45
増減額 (B-A)	△ 200	0	△ 70	△ 40	
増減率 (%)	△ 1.4	0.0	△ 21.9	△ 23.5	
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	14,015	303	298	153	32 43

2. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間

営業収益につきましては、倉庫事業及び乗用車販売事業において、ほぼ計画どおりに推移しましたが、運送事業においては農業機械、食品等の分野で想定した受注高までには達せず、前回予想を若干下回る見込みとなりました。

営業利益につきましては、運送事業での原価抑制効果と乗用車販売事業において中古車販売の台当り粗利益率が向上したことに加え、サービス部門の外注費削減などにより、前回予想を上回る見込みとなりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益の増益効果はあったものの、第2四半期に見込んでおりました当社物流倉庫（宮城県名取市）の新設に伴う補助金（津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金）が、確定検査において認定を得られなかったことにより、前回予想を下回る見込みとなりました。

(2) 通期

通期の業績予想につきましては、引き続きソリューション型の営業活動及びCS（顧客満足）活動を展開しながら、社会環境等の変化に対応した新たな領域への事業展開を推し進め、収益向上を図ると同時に原価低減を推進してまいります。第2四半期累計期間の業績予想値の修正理由及び第3四半期以降の当社グループの事業環境並びに顧客企業が属する業界動向等を精査した結果、上記のとおり通期の業績予想を修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があります。

以 上